



「Fass」の「近くの店舗をさがす」画面



メニュー一覧



お支払い方法の確認



お店を選択



メニューの詳細



店舗のトップページ



ご注文内容の確認

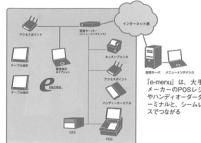


メニュー

テーブルトップオーダーシステム「F-menu」の導入で、お客自身のペースで注文できるオーダーメニュー。接客が多い店舗もスタッフを解放し、減らすことで、通知オーダーの導入で客単価も上げられる。



図表① F-menuのシステム構成図



アスカティースリー(株)

(本社:東京・千代田区・小林俊雄社長)

セルフオーダーの先駆企業がスマートフォン活用の新サービスもスタート

タッチパネルによるセルフオーダーが普及し始めて約10年。その先駆者が、アスカティースリーである。同社のテーブルトップオーダーシステム「F-menu」の導入店は、居酒屋、回転寿司、レストラン、焼き肉店等々1345店舗に及び。この6月には、新たにテイクアウトを特化した、スマートフォンを使ってオーダー・決済ができる「Fass」のサービスも一部エリアで開始した。

「Fass」にて従業員にゆとり 感動接客を実現

店内に混雑し、お客は早くオーダーしたいのにスタッフの手が空ぶ。待たされたイライラ。スタッフは余裕がなくなり、接客が疎かになったり、オーダーミスが生じたりとお客はオーダーを諦め、客単価が下がって行く。店に対する印象も悪くなる。そんな問題を解決するソリューションが、テーブルトップオーダーシステム「F-menu」である。お客は、自分のペースで気兼ねなくオーダーでき、制客が多い店舗で

もスタッフの手が空ぶらずに済むので、追加オーダーが増えて客単価も売上げも上がる。

店舗スタッフは、オーダーテイクがなくなったが、ゆとりができて、調理・接客が丁寧になり、配置などに力を注ぎ、ミスがなくなる。その結果、お客の好印象が生まれることができる。また「Fass」は、大手メーカーのPOSレジやオンラインオーダーに馴染みやすい。ハンデードライバーに接続し、ハンデードライバーでタッチした注文も、ディスプレイに反映することもできる。「実績」により、メーカーとの信頼関係が築ける。だからこそ、こうしたことができる。また、機器やサーバの進化で、従来と比べて機器価格は高まっているのに、導入価格は大幅にダウンしている。「同社」ということで、小規模店舗や個人で導入しやすくなっている。

タブレットシステムである。またはお客は、App Store、またはGoogle Playストアで専用のアプリをダウンロードし、必要事項を入力してクレジットカード情報を入力して会員登録すればスマートフォンでの準備が完了した。

そして「Fass」というアプリに、現在の場所に近い順に表示される。加盟店リストから好みの店舗を選択。その店の店舗情報が表示される。0円からオーダーに進み、メニューリストから商品を選んでかき入れ、「今すぐ、「時間切れ」を防止取り戻す」ボタンを押し、注文履歴とクレジットカードで決済を通知。再帰りが出来るように、注文履歴があるので、指定した時間に店舗に行く。画面上に表示された商品引換えを提示すれば商品を受け取れる。加盟店には、Fassアプリ専用のディスプレイが設置され、注文内容と内容が表示されるので、時間に合わせて調理を開始。ディスプレイの注文をタッチすると、受付中、調理中、呼出し中、提供済みと進捗状況がカラー表示される。加盟店にとっては、Fassアプリは、第一は、事前に通客が済んでいるので金銭授受がなく、提供スピードが速くなり、約率的なミスも防げる。

スマホでオーダー・決済ができる 持ち帰り向けサービスを 開始

新しくサービスを開始した「Fass」は、お客自身のスマートフォンをオーダー端末として活用し、事前決済まで済ませてしまうテイクアウトに注力している。

こと、第二は、加盟店リストで従業員に店を知ってもらう。知名度が高まること、第三は、お客は遠隔地から注文でき、キャッシュレスで現金を待たずに商品を受け取ることで、利

便性が高く、時間も節約できたため、リピートが増えることだ。

ちなみに「Fass」といふ名称は、TDLを得意導入されている。待たずにアトクシヨンを案

しめるファーストパスをイメージしている。現在、東京・千代田区、中央区、港区限定でサービスを実施している。ぜひ、エリアを拡大していく。

品名	数量	単価	小計	合計
アイスコーヒー	1	380	380	380
アイスコーヒー	1	380	380	760
アイスティー	1	380	380	1140
パナドラスムージー	1	380	380	1520